

日本労働年鑑 第59集 1989年版
The Labour Year Book of Japan 1989

第四部 労働組合と政治・社会運動

III 政党の動向

1 国会と各党の動き

3 野党間の協議・共同政策提言など

政府予算案修正をめぐる四野党共同の動き

政府予算案修正と税制改革にたいする四野党共同修正については、八八年二月二四日の四野党政審会長(政策委員長)と連合の山田事務局長、総評の真柄事務局長との会談、二月二六日の二兆九四〇〇億円の大規模減税を柱とする「昭和六三年度政府予算案にたいする修正共同要求」の発表、翌二七日の自民党渡部国対委員長への提出等の動きがあった。さらに三野党政審会長は、二月二九日にも渡辺自民党政調会長に会い、共同要求の内容を説明して前向きに対応を要求した。また、四月八日、社・公・民三党の国対委員長・政審会長は、連合の山田事務局長、総評の真柄事務局長などと会談し、減税実現をめざす野党側の今後の具体的とりくみなどについて意見交換をおこなった。

四野党共同の「土地基本法案要綱」発表

八八年四月二六日、社会・公明・民社・社民連四野党政審会長(政策委員長)は、大都市圏の地価抑制を目的とした「土地基本法案要綱」を発表した。一一項目からなる法案要綱では、土地の公共性と利用権の制限が前面に打ち出され、住民参加の環境保全・都市づくりが強調されている。四月二七日、四野党政審会長(政策委員長)は総務庁で土地臨調の大槻会長に会い、法案要綱を手渡して実効ある地価抑制を強く要請した。

四野党共同の政府税制改革にたいする対応

社会・公明・民社・社民連四党は、八八年六月二〇日の税制改革案にたいする「四野党共同見解」の発表、八月一五～一七日北海道冠村での政審会長(政策委員長)の合宿勉強会(前年について二回目)の開催、八月一七日の「不公平税制是正の共同提案」の発表(全文は『公明新聞』八八年八月一八日付参照)など、共同の対応をおこなった。また一〇月一八日には、国民合意の原則、公平・公正の原則など五つの原則と、(1)民主的ルールによる改革、(2)不公平是正を最優先課題、(3)行財政改革の長期展望、(4)福祉政策の長期展望、(5)国民合意のための十分かつ慎重な協議の五つの手順を提起した四野党共同の「税制に関する基本構想」を発表した。

野党相互の委員長会談

社・公両党の委員長・書記長は、八八年五月二日、六月二九日、一〇月二四日の三回にわたって会談し、減税問題、参院選比例代表区の野党統一名簿問題や税制改革への対応、リクルート問題など当面の政治課題についての意見交換をおこなった。

公・民両党委員長も、同年二月一〇日、四月二八日、六月二二日の三回会談し、統一名簿構想や税制改革問題などで意見を交換し、中道勢力の結末、安保・自衛隊、エネルギー、韓国問題等基本政策での連合政権政策の一致、選挙協力問題をふくめた首脳会議の定期的開催などで合意した。なお、二月一〇日の会談は友愛会議(旧同盟)宇佐美議長の主催によるものである。

さらに、五月一日には、公明党と社民連の党首会談も開かれ、統一名簿構想問題や減税問題で意見交換がなされた。

「友引会」八ヵ月ぶりに開催

八八年五月二三日、前年の八七年七月に結成され同年九月一八日に二回目の会合を開いて以来八ヵ月間休眠状態だった「友引会」(社会・民社両党議員有志の親陸会、詳しくは『日本労働年鑑』第58集三七〇ページ参照)が開催された。これは、社会党国会議員として初めて党の公認を得て訪韓する川俣健二郎代議士を壮行する趣旨で開かれたもので、社会党からは大出国対委員長や武藤前副委員長ら一八人、民社党からは小沢国対委員長や米沢政審会長ら一六人が出席し、公明党からもゲストの形で池田克也代議士が加わった。

なお、このほか、執行部が「社民和解」に慎重な姿勢をとっているためにこれまで出席を見合わせていた田辺社会党前書記長と春日民社党常任顧問も顔を出し、これまででもっとも多い三七人の参加となった。

第一次竹下改造内閣の発足

八八年一二月二七日、第一次竹下改造内閣が発足した。この改造では、外務・大蔵など主要五閣僚が留任し、閣僚経験者が重点的に起用され、「実務型」と評された。また、リクルートコスモス未公開株譲渡問題で名前の出た議員は、首相自身を除いては、一人も起用されなかった。なお、労働大臣には、河本派の丹羽兵助元国土庁長官・総理府総務長官(愛知二区選出、当選二回)が就任した。

日本労働年鑑 第59集

発行 1989年6月26日

編著 法政大学大原社会問題研究所

発行所 労働旬報社

2000年2月22日公開開始

■ ←前のページ 日本労働年鑑第59集【目次】 次のページ → ■
日本労働年鑑【総合案内】

法政大学大原社会問題研究所(<http://oisr.org>)
